

2019 年 6 月 ボリビア経済情勢

令和元年 7 月 5 日掲載

1 マクロ経済

(1) 公共投資(2 日付報道)

経済財政省によると、2018 年の公共投資の予算源のうち、76%は国内予算、24%が外国融資であった。本年の公共投資額は、53 億 2,300 万米ドル(前年比で 19%増)を予定しており、69%が国内予算、31%が外国融資となる見通しである。

(2) GDP 成長率予測(5 日及び 6 日付報道)

世銀の報告書によると、ボリビアの本年の GDP 成長率は 4%と予測され(前回の予測は 4.3%)、域内で最も高い成長率が見込まれる。

(3) 物価上昇率(7 日付報道)

国家統計局(INE)によると、本年 1～5 月の物価上昇率は、0.65%であった(本年の目標値は 4%)。

(4) 財政赤字(11 日付報道)

NGO ミレニオ財団の分析によると、2018 年、ボリビアの財政赤字は南米で最も高く、GDP の 8.1%を占めた(2014 年は約 3.4%、2015 年は約 6.9%)。他の南米諸国の財政赤字は GDP 比で、ブラジル 7.1%、アルゼンチン 5%、ウルグアイ及びコロンビア 2.9%となっている。

(5) 外貨準備高(12 日付報道)

ボリビア中央銀行(BCB)によれば、外貨準備高は 4 月 12 日時点で 79 億 1,700 万米ドルであったが、6 月 12 日時点で 83 億米ドルまで増加した。

(6) 国営企業(23 日付報道)

2018 年 12 月 31 日までに、戦略的分野の五つの公社(ボリビア石油公社(YPFB)、ボリビア電力公社(ENDE)等)は、約 7 年間の融資総額 64 億 2,700 万米ドルのうち、約 51 億 700 万米ドルをボリビア中央銀行(BCB)に返済する義務があり、BCB によれば、本年 5 月 31 日までに YPFB 及び ENDE は、約 3 億 6,300 万米ドルを返済した。

(7)格付(26 日付報道)

20 日、フィッチ・レーティングス社は、ボリビアの格付を BB マイナスで維持したが、「安定」から「ネガティブ」に評価を下げ、2020 年以降は「不安定」となると見通した。

2 リチウム、エネルギー及び天然ガス等

(1)リチウム(2 日付報道)

1 日、ガルシア・リネラ副大統領は、本年 11 月にウユニ塩湖の炭酸リチウム製造プラントを完工する予定であると述べた。

(2)エネルギー及び天然ガス等(5 日付報道)

4 日、ボリビア炭化水素省及びブラジル・マトグロッソ州は、エネルギー統合の深化に向けた覚書に署名した。同覚書には、天然ガス、液化ガス、尿素、家庭用ガス・サービス網の供給が盛り込まれている。

(了)